



発行所
岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市藪田南5丁目14番53号
 岐阜県県民ふれあい会館8階

毎月20日発行 購読料 年間1,500円(1部125円)

事務局直通電話

管理調整チーム 058-277-1100(代)

組織指導チーム 058-277-1101

広報・事業チーム 058-277-1102

情報チーム 058-277-1103

事務局FAX番号 058-273-3930

東濃支所 0572-25-0865

飛騨支所 0577-34-4300

東濃支所FAX番号 0572-23-7431

飛騨支所FAX番号 0577-36-4220



会長新春インタビュー →

← 役員交流会であいさつする古田知事



2008
1月号

主な記事

社長の新春インタビュー
 中央会の動き
 (なんでも相談会、理事会・役員交流会、
 外国人研修生受入研修会ほか)

1~2
 2~4

組合等の動き(新春見本市ほか)
 12月の景況調査
 事務局だより(セミナーの案内ほか)
 年賀広告

5~6
 7
 8~9
 10~16

平成20年、明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、中小企業は本県経済の活力の源として、生産、流通、サービス等のあらゆる分野においてその発展向上に大きく寄与し、重要な役割を果たしております。地域経済を支える皆様が個々の企業の強みを発揮されるとともに、新事業の展開や新分野進出など経営革新に努められることが、県内経済の一層の発展に繋がります。

こうした中で、中小企業組合が果たすべき役割は極めて大きくなり、その期待も高まっています。個々の企業では解決できない問題を、組合の団結の力により解決に向けて前進させねばなりません。

今年も中央会は、皆様方の期待に応えるため、中小企業団体の支援機関、組織化のプロ集団としての自覚を持ち、組合の皆様と共に手を取り合って皆様方の活動やチャレンジを応援していく所存です。特にきめの細かい組合支援、元気の出る組合支援、各種情報の積極的な提供等に重点を置き、より一層の活動強化に努めてまいります。ご支援方よろしくお願ひ申し上げます。

昨年を振り返って

岐阜県経済は緩やかな回復傾向にあると言われ続けている。しかし、多くの中小企業にとっては全く実感が無い。組合や中小企業の現場の生の声を聞き、中央会の運営に活かすとともに、他の組合や行政機関など各方面に伝えるため始めた会長としての組合訪問も、昨年末で41組合となった。概括的に感想を述べれば、多くの業界において先行きに明るい見通しが無いことが非常に問題である。外国を含めた厳しい競争、材料・石油の高騰、公共事業の減少、消費者の嗜好の変化など、業種によって理由は違ってもせよどの業界も追い込まれており、

“競争疲れ”していると感じた。しかし、こうした状況下において頑張っている組合も多く見られた。一例を挙げると、県自転車軽自動車商協会は、第50回総代会の開催を記念して、組合全体の自転車需要を集中的に取りまとめた共同購買事業を行った。結果、

自転車メーカーから約半値で卸してもらい、組合員に大きなメリットが提供できた。また、商店街も賑わいを取り戻すために努力しており、

柳ヶ瀬商店街(振連)では、即効性のあるPOP広告についての有料研修会を実施し、実践した各個店では売上増を実現した。苦境に耐え、知恵を絞って対策を講じ、地道に活動していけば、必ず明るい光

「組合のニーズに応えるパートナー・中央会」

組合運営支援を中心に各種事業を展開

辻正中央会会長に聞く

が見えてくる。

中小企業の実情や意見などについて、県をはじめとする各方面に伝えることも大切だと考えている。昨夏には古田知事にもものづくりの現場の状況を知ってもらうため、川崎岐阜(協)、県金属工業団地(協)、可児工業団地(協)の理事長との懇談会を開催した。さらに、今後の大企業と中小企業の間をはじめとする企業間の関係のあり方として、発注者と受注者の共生(Win to Winの関係)、中小企業が生きていける発注の考えを入れていかないと、経済が発展していかないのではないかと思う。官公需も同様で、県内企業への発注、県内への技術移転を見据えた発注が必要だと改めて認識している。中央会に対しては、これまでの取り組みに一定の評価がされ、支援への期待も各組合から寄せられている。大変嬉しいことではあるが、中央会も正念場が続いている。

産業構造の変化と対応

中小企業は、我が国の国際競争力を支え、経済活力の源となっており、雇用の多くを担っている。県内企業の99%以上は中小企業であり、企業イコール中小企業と言っても過言ではない。こうした中で、中小企業を取り巻く環境は大きく変化している。従来、大企業と中小企業の関係は系列取引であったが、取引構造のメッシュ化が進み、柔軟な戦略取引、オープン化へと産業構造が変化している。厳しい国際・国内競争の中で生き残り、また発展をしていくためには、狭い分野でもよいからオンリーワン、ナンバーワンの製品や販売方法、ビジネスモデルを作る必要がある。また、中小企業はもともと人材確保が難しい。少子高齢化が進む中で、優れた技術を持つ人の高齢化、日々進化する技術、感性を担える人材不足が懸念されており、長期的な観点での人材育成、技術の確保が求められる。

大きな経済の変動期に正面から立ち向い、直向に経営してきた企業が生き残っており、人材育成、ニュービジネス、国際化、IT化などに対応していかなければ、企業格差が益々広がっていくと思われる。

中央会が担うべき役割と活動

産業構造の変化に伴い、組合の存在意義も変化している。これに伴って中央会に求められるものも変

化しており、また、その期待も大きくなっている。組合の運営指導や助成事業の支援に加えて、コーディネート機能や生きた情報や交流の場の提供、組合員間や行政との情報の中継役としての役割などが求められており、これに対応して中央会では様々な角度から支援を行っている。昨年は、組合への巡回支援の充実をはじめ、組合まつりの開催、知事と組合トップとの懇談会、東濃地域組合活性化研究会及び事務局代表者懇談会の開催に加えて、仕事と家庭の両立支援のための県・商工中金・中央会による3者協定の締結、十六銀行・商工中金・中央会によるLLP設立等に対する支援協力の締結などを中心に活動してきた。

今年も引き続き組合訪問を行い、この訪問や各種事業を通じて把握した組合のニーズを踏まえ「組合ニーズに応えるパートナー・中央会」をスローガンに、積極的に事業展開していく。最も基本となるのは組合の運営支援である。昨年は組合法の改正もあり、今年も訪問、相談、研修会の開催等で対応したい。また、組合や企業経営について考える機会の提供として、新しい課題に対応するための研修会・講習会等を開催していく。さらに情報提供も重視したい。他組合の情報や法律、制度改正の情報等を積極的に発信していくほか、組合や中小企業の現場の状況を県及び関係機関に伝え、中小企業施策に反映されるよう働きかけていきたい。また、会員から要望の強いコーディネート機能(直接、組合・企業のビジネスをサポート)を一層重視するとともに、地域資源を活かした事業活動への支援にも取り組んでいく。

目玉事業の一つとして、昨秋に「全国レディース中央会」が発足したことを受け、本年秋には『レディース中央会全国フォーラム』を本県で開催する。これは、本会レディースクラブの加藤智子会長を筆頭に役員や会員の尽力によって実現したもので、開催に当たっては皆様方の協力をお願いしたい。

様々な業種の組合が集まっていることが中央会の特徴であり、強みでもある。事業実施においては、この強みを活かし事例の紹介、組合間の交流機会の増加に努め、効率的な中央会の運営や事業実施を進めていくので、中央会を積極的に活用頂きたい。

なんでも相談会を開催

中央会は、12月中旬に県下3会場において「創業と企業経営のためのなんでも相談会」を開催した。同相談会では、「国・県が中小企業支援の柱として積極的に取り組まれている地域資源の活用」、「労務管理と各種助成」、「有限責任事業組合(LLP)制度」の3点について説明を行うとともに、組合及び企業

が抱える課題等の相談に応じた。

組合からは、「新商品の開発に取り組むための助成メニューを教えて欲しい」、「65歳までの雇用延長に係る対応策はどうすべきか」などの相談があり、各担当者から回答した。また、新たな事業展開をする際に『LLP』は有効な組織体であるため、その活用について検討したいとの意見もあり、本会では継続して支援していく。

理事会・役員交流会を開催 中央会・通常総会は5月29日に行います

中央会は、1月15日に理事会及び役員交流会を岐阜グランドホテルで開催し、役員ら約60人が出席した。

理事会

開会にあたり辻正会長は、「昨年までに41組合を訪問させていただいたが、全ての組合役員の皆様から『中央会は必要である。しっかりやって欲しい』とお声をいただいた。全国で最もアクティブな中央会でありたいと思っているので、皆様のご協力をお願いしたい。」とあいさつ。県産業労働部の猿渡要司部長の来賓あいさつに続いて議案審議に入り、全議案とも異議なく可決決定した。

また、「新経済成長戦略～国際競争力の強化と地域経済の活性化～」をテーマに中部経済産業局の大辻義弘局長から、「伝統文化に学ぶ」をテーマに辻会長からそれぞれ講演が行われた。大辻局長は、「国では新経済成長戦略として、国際産業戦略と地域中小企業の活性化を2本柱に掲げ、これを推進していく。中部地域の産業は、自動車関連だけでなく航空機や液晶素子などといった日本製造業の競争力が強い分野の業種が多く集まっており、裾野が広い。また、地域資源を活用して新商品・新サービスの開発や販売に取り組んで欲しい。県内からいくつか事例も出てきており、更なる活用を期待している。事業承継税制の拡充も大きな目玉の一つである。今後、議論が進められていくので、注目して欲しい。その他、海外の販路開拓、農商工連携、中小企業のIT化推進、動産担保による融資の促進にも努めたい。」と説明した。

講演後には、(社)茶道裏千家淡交会岐阜支部によるお茶会を開き、辻会長が理事らをもてなした。



役員交流会

古田肇岐阜県知事、大辻義弘局長等多数の来賓を迎え、役員交流会を開催した。古田知事は、「中央会は会長自らが組合を訪問し、現場のニーズを反映した活動を行うなど、きめ細かな支援をしておられ感銘を受けている。県政も現場主義を徹底していく。昨年はJRの協力もあり、県内に多くの観光客が訪れた。特に今年は食と温泉にスポットを当て、食材や料理、食器といった食と温泉に関わる資源を掘り起こしていきたい。経済産業省は、地域資源の活用に力を入れている。どこの県にも良いモノはあるが、岐阜県は掘れば掘るほど出てくる。地域資源を活か

した取り組みについては、県でも積極的に支援していく。また、東海北陸自動車道の全面開通で富山と名古屋が2時間40分でつながることにより、物流、経済活動、観光交流など、新しいつながりが生まれるのではないかと考えている。昨年には地場産業を応援するため「地場産業対策監」というポストを設けた。今春からは「モノづくりセンター」がスタートする。地域中小企業の活性化、地場産業の発展のため皆様と共に頑張っていきたい。」とあいさつした。

その後、古田知事、大辻局長等を囲んで本会役員と交流の場が持たれ、各業界の現状や今後の見通しなどについて、意見交換が行われた。

なお、新規加入組合等は次のとおり。

新規加入組合等

()内は代表者名、所在地、組合員数

- 岐阜県建設車輛事業協同組合(高井直人、関市、19人)
- 中濃ミート事業協同組合(中山文夫、関市、19人)
- 高山たばこ販売協同組合(長尾肇、高山市、198人)
- 宮川市場協同組合(與嶋利明、高山市、73人)
- 流葉観光開発協同組合(霜出孝弥、飛騨市、49人)
- 協同組合岐阜県可児工業団地管理センター(加藤千雄、可児市、52人)
- 下呂食糧配給企業組合(松波敬洋、下呂市、5人)
- テキスタイルメイト協同組合(松岡健造、岐南町、7人)
- 美濃和紙ブランド協同組合(福村善光、美濃市、34人)
- 岐阜金属加工協同組合(高橋伸治、関市、4人)
- コンプス事業協同組合(小田切昇、瑞穂市、10人)
- 岐阜中央ファッション協同組合(二ノ村文康、岐阜市、4人)
- 岐阜樹脂加工協同組合(恩田一、山県市、4人)
- 可茂陸砂利協同組合(成瀬智典、可児市、10人)
- 岐阜金属テクノ協同組合(洞田義男、岐阜市、4人)
- 中部人材支援企業組合(角田龍厚、岐阜市、5人)
- 飛騨美濃鶏ちゃん協同組合(日下部譲、下呂市、4人)
- 岐阜テクニカル事業協同組合(田中政光、岐阜市、23人)
- ESG協同組合(磯村治正、岐阜市、7人)
- 岐阜セント協同組合(柴田威、岐阜市、5人)
- ビジネスクラフト協同組合(木下富吉、岐阜市、17人)
- 全兼アパレル協同組合(中村雄三、岐阜市、5人)
- ひだ管設備協同組合(橋本祐次、飛騨市、18人)
- 協同組合たくみ(杉本潤、中津川市、4人)
- 岐阜プラスチック協同組合(古田弘泰、揖斐川町、5人)

* 組合からの組織変更等により、1号会員から2号会員へ

岐阜県印章業組合連合会(村瀬健、岐阜市、45人) 株式会社岐東(直井孝導社長)

次の理事会は4月23日(水)に県民ふれあい会館(10:30~)、第53回通常総会は5月29日(木)に未来会館(13:30~)で行いますので、ご参加をお願い致します。

外国人研修生受入研修会を開催

中央会は、12月21日に「外国人研修生受入組合運営研修会」を県民ふれあい会館で開催した。

研修会には80名を超える組合関係者が出席。受入事業を行う組合は年々増加傾向にあり、県内組合における外国人研修生の数は3千人超、技能実習生は6千人を超え、それとともにトラブルも発生しており、その適正化が喫緊の課題となっている。本会の大野専務理事は、「受入事業を日本でこなす以上、日本の法令を遵守し、制度の目的に沿った事業運営を行うことは当然であり、これを前提に中央会は組合に対して支援している。各方面から厳しい意見も寄

せられており、法令遵守を徹底して頂きたい。また、共同経済事業が計画倒れにならないよう実行して頂くとともに、決算関係書類の提出など適正な事業運営をお願いしたい。」とあいさつした。

岐阜労働局労働基準部監督課の中野正樹専門監督官からは、労働基準法違反等が認められた事例などが紹介され、また、本会からは事業報告書に組合の事業活動の状況を的確に記載することの必要性などについて説明した。



技能実習生等の受入適正化について検討

中央会をはじめ、労働局や入国管理局、県などが参加した「技能実習生等受入適正化推進会議」が、12月3日にグランヴェール岐山で開催された。

会議では、各機関の担当者から指導実績や現状が説明され、最低賃金以下での雇用や時間外手当の未払いなどの違反事例が報告された。今後、商社等の発注先に対し、適正価格で発注を要請するなどの対策を検討していく。

商工4団体で「準都市計画区域の指定」を要望

中央会、県商工会議所連合会、県商工会連合会及び県商店街振興組合連合会の経済4団体は、「準都市計画区域の速やかな指定を求める要望書」を12月25日に原正之副知事に手渡した。

改正都市計画法・建築基準法には、準都市計画区

域の要件緩和と指定権者を都道府県に変更することなどが盛り込まれており、都市計画区域外では準都市計画区域を指定することで大規模集客施設の郊外立地を規制する仕組みとなっている。要望書では、準都市計画区域の指定権者である県に対し、早急な指定を求めた。

エコアクション21への取り組み

エコアクション21(EA21)地域事務局ぎふの運営委員会・判定委員会の合同会議が12月26日に(財)岐阜県環境管理技術センターで開かれ、本会の大野嘉弘専務理事が運営委員会のメンバーに選出された。

EA21とは、環境省が策定したガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度で、国際標準化機構の「ISO14001」規格をベースとした中小企業等でも容易に取り組みめる環境経営システムである。

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び総排水量を必ず把握する項目として規定あり、環境経営に当たっては、省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル、節水への取り組みが必須の要件となっている。中小企業を中心に全国で約2,000団体が認定登録されている。

会議では、地域事務局の事業計画や各種規程などが審議され、いずれも承認された。今後は、業界団体等と協力してセミナーを開催するなど、制度の周知に重点を置き活動を展開していく。

「中小企業情報化フェア」が開催される

中央会が後援する「中小企業情報化フェア」が、12月12日に大垣市のソフトピアジャパンで開催された。

中部経済産業局の大辻義弘局長の基調講演のほか、

IT活用により成功した地元企業の事例が発表されるなど、会館内では様々なイベントが実施された。



青年中央会役員が会社訪問を実施

岐阜県中小企業青年中央会(山岡利安会長)は、12月6日に「青年中央会役員による会社訪問及び意見交換会」を実施した。

青年中央会では、次期組織リーダー育成のため各種事業を展開している中で、今回は輸送用機械器具等の製造を行う事業者で組織された川崎岐阜(協)組合員の誠和工業(株)(土屋徹代表取締役)を役員らが訪問し、工場見学と意見交換を行った。自動車産業を筆頭に元気が良いと言われる業界にあって、同社では鋼管の加工(曲げ、ジョイント部材のフレアー加

工、バルジ加工、溶接加工など)による各種機械加工用部品の製造過程を見学。また、意見交換の中で佐藤功常務取締役からは「当社の受注内容は、多品種少量の構成となっており、出来る限り価格のみの競争は避けるよう努めている。課題としては原材料価格の高騰もあるが、納期の遅れや多数のお客様の優先順位のつけ方など、生産管理の仕組みについて改善が求められる。」と説明した。



子供服について消費者と懇談会

岐阜婦人子供服工業組合(松原一廣理事長)は、組合員の子供服メーカーと消費者との懇談会を、12月14日に岐阜商工会議所で開催した。

懇談会には、松原理事長ほか組合内で組織する子供服委員会メンバー4社と、小学生以下の子供や孫を持つ岐阜市消費者モニター6人が参加し、今後の商品企画や販売戦略を計画するための情報収集等を行った。松原理事長は「小売店や販売員との対話はあるが、消費者とメーカーが直接話をする機会は少ない。この意見交換会を通じてメーカーの商品づくりに反映させて欲しい。」とあいさつ。組合からは子

供服購入のポイントや要望等について尋ねたのに対し、「子供自身が気に入る服じゃないと着ない。デザインの好みもはっきりしている。」「男の子はよく動くので、丈夫な素材の服を選んでる。」などといった意見が出された。

組合では、「昔は親が買ってきた服を着る子供が多かったが、最近の子供と一緒に服を選んで購入する人が増えている。消費者からの意見は大変参考になった。」と感想を語った。



東濃ひのき製品流通(協)が環境大臣表彰

地球温暖化防止に功績があったとして、東濃ひのき製品流通協同組合(杉山計弘理事長)が環境大臣表彰を受賞した。

同組合では、これまで単に焼却処分されてきた大量に排出される木くず等を燃料とした木質バイオマス発電施設の運営により二酸化炭素の排出抑制に努めており、工場は発電した電力で稼働させ、余熱を木材の乾燥に利用している。表彰式は12月17日に東京のKKRホテル東京で行われ、鴨下一郎環境相から表彰状を受け取った。

また、環境省では全国の優れた地球温暖化防止の

取り組みにスポットを当て、地域の取り組みをより一層推進するため「ストップ温暖化一村一品大作戦」(主催:全国地球温暖化防止活動推進センター)を初実施している。全国から1,070の募集があり、本県からは同組合が選ばれた。2月9、10日に開催される全国大会でグランプリが選出されるが、

これに先立ち、今月末までWeb投票(<http://www.jccca.org/daisakusen/>)が行われている。



岐阜市商連が県民栄誉賞を受賞

岐阜市商店街振興組合連合会(古川洋治理事長)は、岐阜県県民栄誉賞を受賞し、その表彰式が12月18日に県民ふれあい会館で行われた。

県では、各分野で顕著な活躍をし、県民に明るい希望を与えた方々を表彰しており、同組合が97年から取り組んでいる「岐阜フラッグアート展」が、本年2月に行われた「第11回ふるさとイベント大賞」において大賞に輝き、総務大臣表彰を受けたことから、その功績を称えて選出された。

商店街活性化策の一つとして始められた岐阜フ

ラッグアート展は、街歩きを楽しくするため、約60名のアーティストが描いた絵のフラッグ(横1.8m・縦3.0m)をアーケードに展示するもので、東京芸術大学の日比野克彦教授が総監修している。

表彰式には古川理事長が出席し、古田肇知事からブロンズ像が贈られた。古川理事長は、「今回の受賞はこれからの組合活動において励みとなる。今後も街が人で賑わうように努力したい。」と感想を語った。



湯たんぽづくりが活況

高田陶磁器工業協同組合(若尾敏一郎理事長)では、以前から陶器で湯たんぽづくりを行っているが、今年は原油高の影響などで脚光を浴び、出荷数が大幅に伸びている。

同組合によると、10月から生産にかかり11月頃から注文が殺到し、組合員企業ではフル回転で作製しているが、追いつかない状況とのこと。シーズンが到来した現在も作業に追われ、今シーズンだけで

5,000個の出荷が見込まれている。組合関係者は、「高田で採取する土は、草木がメインの陶土のため、人体に優しく特に乾燥肌に効果があり、保温力もあるので湯たんぽには最適。経済面でも優れているので、是非利用して欲しい。」と話している。



グルメガイドぎふを発刊

岐阜県料理生活衛生同業組合(平井照二理事長)は、平成16年に発刊して好評を得た「グルメガイドぎふ」の第2版を発刊した。

初版を改訂してさらにバージョンアップした同ガイドは、組合員の料理店120店舗の所在地や一部店舗のメニュー、営業時間などを掲載しているほか、

県内5圏域の特徴や料理文化などを紹介している。今後、各店舗で来店客らに配布していく。お問い合わせは、組合事務局(058-262-2845)まで。



岐陶工連傘下の14組合が新春見本市

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会(加藤愛之輔理事長)に所属する14組合は、新春恒例の「2008年新春見本市」を開催した。

この見本市は、その年の業界の景況を占う催しとしても注目されており、1月5日の美濃焼伝統工芸品(協)を皮切りに、8日からは10組合、10日には3組合がそれぞれ2日間の日程で、新製品やオリジナル商品を発表した。会場には新年度の商品戦略等の参考にするため、地元産地卸商社の担当者らが多数来場した。会場を訪れた担当者からは、「今年は洗練されたデザインの商品が目についた。また、土物主流の商品構成から一頃のように磁器が復活してきた

産地も見られた。特にみずなみ焼のデザインは、欧州市場への進出を狙って商品開発を行ってきた影響が、良い方向に出ていると感じた。」と今年の出来栄を語った。

また、11月中旬にナゴヤドームで行われた「ドームやきものワールド」に美濃焼新作展示会の入賞作品が展示され、本会会長賞を受賞した丸矢製陶(有)の「奏(花器と器)」が、入場者の投票による市場性優秀部門の第1位に輝いた。



東濃ヒノキの初競りで賑わう

東濃ヒノキ白川市場協同組合(板頭学理事長)は、1月9日に新春初市を行い、市場は買い付けに訪れた建築、製材業者などで賑わった。

今年は、出荷量は例年よりも増加したが、単価が

伸び悩む結果でスタートした。市場では、威勢のいい掛け声とともに東濃ヒノキなどが1本1本競りにかけられ、次々に落札されていた。板頭理事長は「東濃ヒノキの良さを伝え、今年も需要を高める努力をしていきたい。」と新年にあたり抱負を述べた。

白川ガス(協業)がゴルフ場に省エネを提案

白川ガス協業組合(榎間修理事長)は、美濃白川ゴルフ倶楽部に対して省エネを提案し、給湯と発電する機能を備えたLPガスコージェネシステム機器の導入が決定した。

組合によると、同ゴルフ場では重油ボイラーを使用して給湯や冷暖房を行っているが、省エネ効果とCO₂削減を図るため、日本LPガス団体協議会が窓口の補助事業を活用して、コージェネシステム機器の設置を提案。ゴルフ場も環境問題に貢献でき、メ

ンテナンス費用の増大やボイラー効率の低下などの課題も抱えていたため、両者の思惑が一致して実現した。

また、組合では消費者への保安業務として4年に1回の定期点検が義務づけられているが、当該地域は過疎化が進み高齢者の比率が高い地域となっているため、組合では毎年、全ての消費者を巡回して無料で点検を行い、お客様に声を掛けることで事故防止に努めている。組合では、「今後も地域の方々にガス供給を通じて貢献していきたい。」と話している。

郡上市でスノボW杯の開催が間近

スノーボードの世界大会『NOKIAスノーボードFISワールドカップ2008GIFU/GUJO大会』が、2月22~24日の日程で、郡上市高鷲町の高鷲スノーパークで行われる。

協同組合高鷲観光協会(和田繕長理事長)では、同機関やスタッフ等への宿泊斡旋をはじめ、選手の輸送やウェルカムパーティーの企画調整に参画し、大会の成功に向けて応援している。組合では、「郡上市内のスキー場には、年間約200万人が訪れるが、

まだまだ全国的に見れば知名度は高くない。しかしながら、高速道路の伸展に続き、ETC専用ひるがの高原スマートICの開通でアクセスも整備されつつあるので、この大会を機に今まで以上に集客に努めたい。また、世界レベルの技を間近で見られるいい機会なので、高鷲まで見に来て欲しい。」と述べた。

また、2月16、17日の両日は、同市の牧歌の里で「たかす雪まつり」が開催される。雪像コンテスト、レーザーショー、雪合戦などが実施される予定。詳細は、組合事務局(0575-72-5000)までお問い合わせ下さい。

県眼鏡商業(協)が特許を出願

岐阜県眼鏡商業協同組合(木方伸一郎理事長)は、「眼鏡装飾者のフィッティングに必要な頭部形状の測定を行う顔面測定器」を開発し、12月27日に特許出願を行った。

眼鏡小売業界では、安さを売りにしたチェーン店の進出等により競争が激化しており、組合員の小売店は生き残りをかけて努力を続けている。こうした中で、組合では量販店との差別化を図るには眼鏡を扱う技術を活かすことだと考え、組合内で組織する

商品開発委員会で数年前から検討を重ね、顔の形状を瞬時に測定する顔面測定器の開発に至った。組合関係者によると、眼鏡は鼻や耳のかけ具合が人によって様々で、この調整に時間を要していたが、この商品開発によって、スムーズな調整及び短時間で商品提供が可能となるとのこと。また、測定値を保管しておくことにより、顧客からの新規オーダーにも柔軟に対応できる。

現在、組合では、顔面測定器の試作品づくりに協力してくれる企業等を探している。興味を持たれた方は、中央会(058-277-1102)までご連絡下さい。

景況感大幅悪化

～ 4年半ぶりにマイナス50台へ～

12月景況調査

中央会が主要業種85組合(うち84組合による集計)を対象にまとめた『12月の特色』は次のとおり。

【12月の特色】組合から見た県内中小企業の特色は 景況感大幅悪化 ～ 4年半ぶりにマイナス50台へ～ となっている。

12月の景気動向を前年同月比景況感DI値で見ると、DI値は、マイナス52となり、前月のマイナス46に対し、6ポイントの悪化となっている。景況感DI値は、2ヶ月連続の悪化となり、また、平成15年6月以来、5年半ぶりにマイナス50台となるなど、強い悪化傾向となっている。

業種別の業況概況では、84業種のうち、好転したのが3業種(食肉、米菓、広告美術)に限られ、半数以上の46業種では悪化となっている。

他の主要な調査項目については、売上高DI値マイナス39で、前月比11ポイント減、販売価格DI値マイナス11で、前月比7ポイント減、収益状況DI値はマイナス50で、前月比5ポイント減と全て悪化の動きとなった。

コメントでは、業況の低迷要因として、多くの業種で売上高の改善が見られず、材料費、燃料費等の値上げ分を販売価格に転嫁することが十分行えないため、収益の減少が拡大傾向にあることを指摘する意見が出ている。また、建築基準法の改正に伴う確認申請の遅れが改善されず、工事物件の大幅な減少が続き、建設業の業況は悪化傾向が強まっている。

県内中小企業主要業種の景気動向 (12月末調査)

表の見方：売上～景況感： 好転・増加 変わらず 悪化・減少

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳・乳製品 豆腐 食肉(国産) 菓子菓 米菓 寒天水産 製菓	系						
		ニット工業						
		織物						
		合成繊維織物						
		メンズアパレル						
木材・木製品	製材 銘木 集成材 家具(飛騨地区) 東濃ひのき	材						
		木						
紙・紙加工品	家庭紙 特殊紙 紙加工品	紙						
		紙						
印刷	印刷							
化学	プラスチック							
窯業・土石	陶磁器(工業) 陶磁器(輸出) タイル	窯業						
		土						
		石						

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
窯業・土石	窯業 原料 石灰 生コンクリート 砂利生産 砕石生産	窯業						
		原料						
		石灰						
		生コンクリート						
鉄鋼・金属	铸件 刃物等金属製品(輸出) 刃物等金属製品(内需) メッキ	铸件						
		刃物等金属製品						
一般機械	県金属工業団地 可児工業団地 金型	県金属工業団地						
		可児工業団地						
電機機器	電気機械器具 輸送用機器	電機機器						
		輸送用機器						
物産品	各種物産品(観光) 各種物産品(ギフト)	各種物産品						
		各種物産品						
卸売業	医薬品卸 電設資材卸 陶磁器産地卸 機械・工具販売	医薬品卸						
		電設資材卸						
		陶磁器産地卸						
小売業	青果販売 水産物商業 家電機器販売 メガネ販売 中古自動車販売 石油製品販売 共同店舗(東濃) 共同店舗(飛騨) 生花販売	青果販売						
		水産物商業						
		家電機器販売						
		メガネ販売						
		中古自動車販売						
		石油製品販売						
		共同店舗(東濃)						
		共同店舗(飛騨)						
商店街	岐阜市商店街 大垣市商店街 多治見市商店街 恵那市商店街 高山市商店街	岐阜市商店街						
		大垣市商店街						
		多治見市商店街						
		恵那市商店街						
		高山市商店街						
サービス業	自動車車体整備 自動車タイヤ整備 長良川畔旅館 下呂温泉旅館 高山旅館 クリーニング 広告美術 情報サービス業 映像制作業 飲食業 ビルメンテナンス 理容・美容業	自動車車体整備						
		自動車タイヤ整備						
		長良川畔旅館						
		下呂温泉旅館						
		高山旅館						
		クリーニング						
		広告美術						
		情報サービス業						
		映像制作業						
		飲食業						
建設業	土木(岐阜地区) 土木(飛騨地区) 土木・建築(羽島地区) 建築設計 鉄構造物 電気工事 管設備工事 建築板金 木製建具 産直住宅(東白川地区)	土木(岐阜地区)						
		土木(飛騨地区)						
		土木・建築(羽島地区)						
		建築設計						
		鉄構造物						
		電気工事						
運輸業	貨物運送(県域) 軽運送	貨物運送(県域)						
		軽運送						

事務局だより

経営改革セミナー

「ほんものの経営だけが企業を伸ばす」のご案内

景気の動向に左右されることなく業績を伸ばしている会社はいくつもあります。これらの会社に共通するのは、世間の風潮や経営の世界の流行に迎合することなく、自社にとって最適なシステムを構築してきたところにあります。

そこで中央会では、経営ジャーナリストで元気塾主宰の疋田文明氏から「ほんものの経営だけが企業を伸ばす」をテーマにセミナーを開催します。疋田

氏は、経営指導、講演、執筆を行う一方、企業経営者と自らの自己研鑽を目的に「元気塾」を開講されています。氏からは、ほんものをキーワードに、伸びる企業の経営戦略の事例を中心に講演いただきます。お問い合わせは、情報チームまで。

【日時】平成20年2月18日(月) 13:30~14:50

【場所】グランヴェール岐山

情報連絡員会議のご案内

中央会は、平成19年度情報連絡員会議を開催します。原油高、円高、建築確認申請遅延の影響と対策について意見交換をさせていただくほか、毎月の報

告いただいている内容の変更についてもお知らせします。

【日時】平成20年2月18日(月) 15:00~16:00

【場所】グランヴェール岐山

商工中金の民営化についての説明会

中央会は、商工組合中央金庫が平成20年10月1日より民営化(株式会社化)するにあたり、中小企業組合及び組合員企業を対象として、その詳細(サービス、出資、組合運営上の留意点など)についての

説明会を開催します。

お問い合わせは、管理調整チームまで。

【日時】平成20年2月21日(木)

説明会 = 15:30~ 個別相談 = 16:30~

【場所】ホテルパーク

女性の能力活用セミナーのご案内

企業がさらに飛躍するには、女性の活躍が不可欠です。そのためには、意欲と能力のある女性を活用し、活躍できる職場環境づくりが求められています。

そこで、厚生労働省と経営者団体及び有識者の連携による「女性の活躍推進協議会」のメンバーであ

る(株)セブン&アイ・ホールディングスの常務執行役員、(株)イトーヨーカ堂の取締役の水越さくえ氏より、「意欲と能力のある女性が活躍できる職場づくりのために」女性の能力を引き出した経営戦略や企業理念を学びます。

【日時】平成20年2月27日(水) 13:30~15:30

【場所】グランヴェール岐山

百貨店販路拡大情報化交換会のご案内

県ぎふブランド振興課では、大手百貨店のバイヤー(リビング、生活雑貨、食品分野のマーチャンダイザー等)が最近の消費者動向や売れ筋商品、注目分野などについて本音でトークする情報交換会を開催します。参加者からの質問にもそ

の場で回答する座談会形式ですので、ものづくりや販売に関する考え方をわかりやすく解説していただけます。

詳細は、同課市場戦略担当(058-272-8362)までお問い合わせ下さい。

日時	開催場所	時間	応募締切	参加百貨店
1月30日	飛騨地域地場産業振興センター	13:00~16:30	1月23日	高島屋
2月19日	セラミックパークMINO	13:00~16:30	2月12日	三越

「県地域活性化ファンド」助成事業の募集

県産業経済振興センターでは、中小企業の優れた技術や農林水産品、観光資源などを活用した新商品・新サービスの開発や販売を応援するため、「岐阜県地域活性化ファンド」助成事業の募集(平成20年2月18日まで)を行っています。

支援制度の特徴は、事業を3月末で終わる必要が

なく、年度をまたぐ事業期間の設定が可能で、最長5年まで事業期間の設定が出来ます。第1次の助成実績として、「美濃和紙」を地域ブランドとして確立するための事業や日本一の「枳」生産地大垣をPRする事業など、6団体へ9百万円以上の助成が決定されました。

中央会では、応募に係る支援などを行っておりませんので、組織指導チームまでお問い合わせ下さい。

原油価格高騰に係る中小企業対策について

経済産業省及び県では、最近の原油価格高騰を踏まえ、相談窓口の設置、下受取引の適正化に向けた要請など、中小企業対策を講じています。主な支援策をご紹介します。

資金繰り円滑化

原油価格高騰の影響を受ける中小企業の皆様は、政府系中小企業金融機関のセーフティネット貸付や

信用保証協会のセーフティネット保証が利用できません。例えば、商工中金では、4億8千万円を限度にセーフティネット貸付が利用できます。

中小企業資金融資制度の要件緩和(H20.3.31まで) 経済変動対策資金の融資対象要件として、「最近3ヶ月の『粗利益』が前年同月比で5%以上減少している事業者」を追加。

詳しくは、中央会までお問い合わせ下さい。

明けましておめでとうございます

昨年は、本会の事業運営に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

中央会では、会員組合の皆様方の取り組みや活動など、より多くの情報を発信したいと考えています。そこで、本紙に掲載可能な組合活動などがございましたら、広報・事業チームまで情報提供をお願いします。また、本紙「年賀広告」に多数のご協賛を頂き、誠にありがとうございます。今後とも、ご協力頂きますとともに、組合員の皆様への情報提供などに本紙をご活用頂きますようお願い致します。



『中小企業等協同組合会計基準』等の斡旋のご案内

中央会では、昨年4月の組合法改正に伴い改訂された『中小企業等協同組合会計基準』に基づき、県下3会場でセミナーを開催し、勘定科目、財務諸表の各様式等、決算関係書類及び事業報告書の作成ポイントなどを解説しました。そこで、セミナー時にテキストとして使用した会計基準を特別価格(2,100円 1,890円)にて提供させていただきます。組合法施行

規則に対応し、各様式を解り易く解説していますので、ご検討をお願いします。

また、『中小企業等協同組合法逐条解説』(5,460円 4,920円)、『中小企業地域資源活用促進法 活用の手引き』(2,520円 2,270円)も併せて割引価格でご案内しております。申込期限は平成20年2月29日まで。また、送料450円が別途必要(5,000円以上は無料)となります。詳しくは、組織指導チームまでお問い合わせ下さい。

就職・採用活動に係る取扱い等について

岐阜労働局からのお知らせです。平成20年度の大学等卒業予定者の採用・就職活動に当たりましては、公平・公正な採用が確保されるよう、次の事項についてご配慮をお願いします。

倫理憲章及び申合せ並びに公共職業安定機関の取扱い日程の遵守 高校卒業予定者等の安定的な採用の確保 男女雇用機会均等法の趣旨に沿った採用活動を行う 学生の自由な就職活動を妨げない 募集の中止及び募集人員の削減、採用内定取消し並びに入職時期繰下げが生じないよう、的確な採用計画に基づいて採用内定を行う 新規学卒者以外の多くの若年者に対しても応募機会の確保に努める。

「中小企業生産性向上プロジェクト」のご案内

中小企業庁では、「中小企業生産性向上プロジェクト」を取りまとめ、ホームページ(http://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/071227seisansei_pj.htm)でわかり易く紹介しておりますので、是非ご覧下さい。

なお、プロジェクトの内容等については、本紙12月号の「時の課題」をご覧ください。

「花もち」を頂きました!

高山市公設市場買受人協同組合(林利夫理事長)から、飛騨の正月を彩る「花もち」を寄贈して頂きました。

来会者の皆様に観ていただくため、本会事務所の入口カウンターに展示致しました。林理事長をはじめ、組合役職員、組合員の皆様に感謝申し上げます。



職員退職のお知らせ

広報・事業チームの高橋一太スタッフが、12月31日付で退職致しましたので、お知らせ致します。



2月中

18日 経営改革セミナー
(13時30分～ / グランヴェール岐山)

情報連絡員会議 15時00分～ / グランヴェール

ル岐山)

21日 商工中金の民営化についての説明会(15時30分～ / ホテルパーク)

27日 女性の能力活用セミナー(13時30分～ / グランヴェール岐山)

12月21日～31日

25日 経済4団体から都市計画に関する知事への要望(県庁)

26日 「エコアクション21地域事務局ぎふ」委員会(県環境管理技術センター)

1月1日～20日

15日 中央会・理事会及び役員交流会(岐阜グ

ランドホテル)

組合青年部資質向上研修会(ホテルパーク)

16日 下呂温泉旅館(協)・創史75周年記念式典(水明館)

17日 県政主要政策に関する経済団体等との意見交換会(県庁)

